

授業科目	*看護形態機能学Ⅱ				実務家教員担当科目	○	
単位	2.	履修	必修	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	定永 敦司						
授業概要	<p>看護師として社会の人々の健康の保持と増進を目指し、病を抱える人の日常生活を支える役割を果たすためには、人間の身体の機能および、身体に生じている病態を理解した上で、その身体に適した援助を実践することが重要です。看護形態機能学では、一年間を通じて器官（臓器）系統別にだけでなく、日常生活の行動から身体を把握する視点を通して、人体の構造と機能についての理解を深め、看護に必要な基礎的な知識を習得することを目的としています。後半の『看護形態機能学Ⅱ』では、身体の運動、情報処理、免疫、生殖、発生に関わる人体の形態と構造、その正常な生体機能について解説します。また、一年を通じて学んだ知識を深めるために、解剖実習の見学を行います。</p> <p>実務家教員として、25年余高次機能病院の医師として勤務した経験を通じ、仲間と共に知識を元に命（生と死）について考える機会を設けます。医療専門職として今後人の命に対峙することになる際の最初の礎・道標を得て本科目を修了することを期待します。</p>						
授業形態	講義	以下、全て対面講義を予定しています。		授業方法			
学生が達成すべき行動目標							
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1 身体の支持と運動について説明できる 2 情報の受容と処理について説明できる 3 外部環境からの防御について説明できる 4 生殖・発生と老化のしくみについて説明できる 5 体表から見た人体の構造について説明できる 6 解剖実習見学を通じ、紙面で学んだ知識の理解を深め、主な人体の器官の構造と機能について説明できる <p>身体の形態と機能の基礎的な知識を身に付ける。</p>						
理想的レベル	身体の形態と機能の知識と、現場における看護とケアの実践の関連を理解することができる。						
評価方法・評価割合							
	評価方法	評価割合（数値）			備考		
	試験	60%					
	小テスト	20%					
	レポート	20%					
	発表（口頭、プレゼンテーション）						

レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NU11102J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
当該部分の予習と復習										1	
授業計画											
第1回	テーマ：内臓機能の調節（1） 自律神経による調節										
第2回	テーマ：内臓機能の調節（2） 内分泌系（ホルモン）による調節										
第3回	テーマ：内臓機能の調節（3） 視床下部一下垂体系										
第4回	テーマ：内臓機能の調節（4） 甲状腺ホルモン・副腎皮質ホルモン・副腎髄質ホルモン										
第5回	テーマ：身体の支持と運動（1） 骨格と筋（体幹、上肢）										
第6回	テーマ：身体の支持と運動（2） 骨格と筋（下肢・頭頸部）										
第7回	テーマ：身体の支持と運動（3） 上下肢の運動										
第8回	テーマ：身体の支持と運動（4） 筋肉の収縮										
第9回	テーマ：情報の需要と処理（1） 神経系の構造と機能										
第10回	テーマ：情報の需要と処理（2） 脳の高次機能										
第11回	テーマ：情報の需要と処理（3） 運動機能と感覚機能の伝導路										
第12回	テーマ：情報の需要と処理（4） 眼の構造と視覚										

第13 回	テーマ：情報の需要と処理（5） 耳の構造と聴覚・平衡覚
第14 回	テーマ：情報の需要と処理（6） 味覚・嗅覚・疼痛、（1）～（5）の復習
第15 回	テーマ：外部環境からの防御 皮膚の構造と機能、体温調節
第16 回	テーマ：生殖・発生と老化のしくみ（1） 男性生殖器/女性生殖器
第17 回	テーマ：生殖・発生と老化のしくみ（2） 女性の生殖機能
第18 回	テーマ：生殖・発生と老化のしくみ（3） 受精と胎児の発生
第19 回	テーマ：生殖・発生と老化のしくみ（4） 成長と老化
第20 回	テーマ：解剖実習見学前 講義
第21 回	テーマ：解剖実習見学（1）
第22 回	テーマ：解剖実習見学（2）
第23 回	テーマ：解剖実習見学（3）
第24 回	テーマ：解剖実習見学（4）
第25 回	解剖学実習の振り返りとまとめ
第26 回	後期学習内容の復習講義
第27 回	後期学習の復習と知識定着の確認①（内分泌、自律神経）
第28 回	後期学習の復習と知識定着の確認②（骨、筋肉系）
第29 回	後期学習の復習と知識定着の確認③（脳神経系）
第30 回	テーマ：生と死について考える 命の始まりと終わりについて
テキスト	教科書：系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能① 医学書院 必要に応じてプリント配布

<p>参考図書・教材/データベース・雑誌等の紹介</p>	<p>講義の中で適宜 紹介します。</p>
<p>課題に対するフィードバックの方法</p>	<p>期末試験60%、小テスト20%、レポート20%で評価します。 レポート：解剖学実習見学に向けての予習レポートと、見学後の観察レポートの二つをまとめて評価します。</p>
<p>学生へのメッセージ/コメント</p>	<p>解剖生理学は、範囲が広く、内容也多岐にわたりますが、今後、疾患や治療、ケアの実践について学ぶ際の基盤となる知識です。体系的な教科書の内容と併せて、自分自身の生活や身体を通して多面的に理解を深めることが大切です。</p> <p>前期と同様に、講義後に講義内容について教科書及び参考資料などをもとに復習してください。次回の講義で小テストを行います。前期に比べ内容がややイメージしにくい範囲もありますので、理解できなかったところは質問をするなど、その都度、整理をするように心がけてください。</p> <p>また解剖学実習見学は、大変貴重な学びの機会となります。将来、人の命に関わる医療職に就く自覚を持ち、十分な予習をして臨んでください。意欲的な取り組みに期待しています。</p>